

プロ野球監督の楽観主義と勝率との関係

—新聞記事の監督コメントの CAVE 法による評定より—
二川優太 (和光大学)・佐竹広太* (和光大学)・いとうたけひこ (和光大学)

キーワード： 楽観主義, ポジティブ心理学, CAVE 法

【問題と目的】 日本のプロ野球はセリーグ 6 球団パリーグ 6 球団の計 12 球団より構成されている。年間を通じて約 140 試合を行い各リーグでの優勝を決めて両リーグの優勝チーム同士で日本シリーズを行い日本一を決める。また、2007 年よりポストシーズンとしてリーグ戦終了後上位 3 球団がクライマックスシリーズを戦い勝ち抜いたチームが日本シリーズに出場する権利を手にすることができるように制度改正された。監督の試合後の勝敗の帰属の説明スタイル (Seligman, 1994) を CAVE 法 (渡邊・いとう・井上, 2010: 内的・外的, 永続的・一時的, 普遍的・特定の 3 つの側面からの分析によって, その人の楽観主義を測定する手法) により評定して, そのチームの勝率との関係を観ることが本研究の目的である。

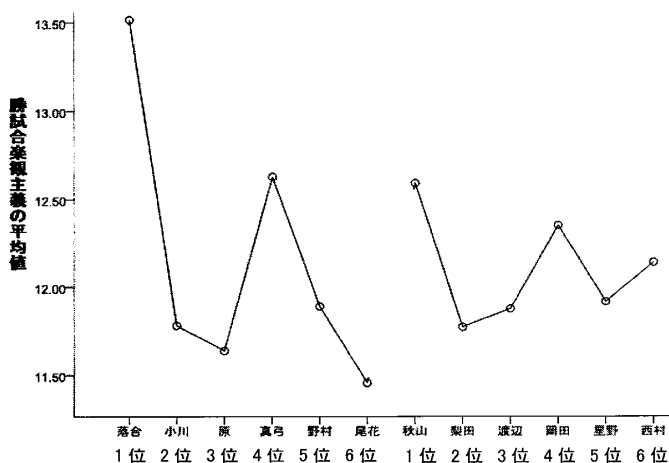


図1 セパ野球監督の勝利試合の楽観主義説明スタイル

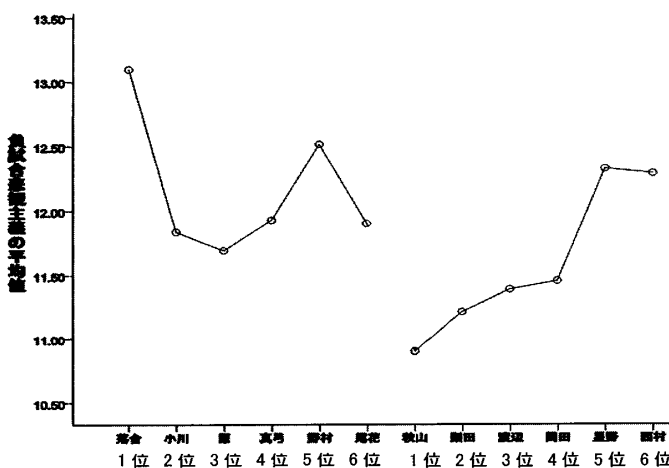


図2 セパ野球監督の敗北試合の悲観主義説明スタイル

【方法】 研究対象: 「スポーツニッポン」「日刊スポーツ」「スポーツ報知」「産経スポーツ」の4つのスポーツ新聞に掲載された、12 球団の監督の試合後のコメント記事。2011 年 4 月より 2011 年 10 月までの記事を対象とした。渡邊・いとう・井上 (2010) により, 楽観主義・悲観主義を評定し, 監督ごとに平均値を求め, 勝率と比較した。

【結果と考察】 コメントは全部で 5454 記事あった。うち引き分け 373 記事は分析の対象外とし, 勝ち監督 2379 コメントと負け監督 2702 コメントを分析の対象とした。

(1) セパ野球監督の勝利試合の楽観主義と勝率順位との関係性をグラフで表すと, 図1のようになる。セ・パ両リーグの優勝チームの落合, 秋山両監督の楽観度は各リーグのトップの楽観度である。勝ち試合のコメントをほかの監督と比較してみても, 落合, 秋山両監督の楽観度は高かった。ほかの監督も連勝や順位が上がったりすると, コメントの楽観度が高くなる傾向が見られた。この結果, 楽観度の高い監督のチームは, 勝率が高く, よい成績を残しているという関係が分かった。

(2) セパ野球監督の敗北試合の悲観主義と勝率順位との関係性をグラフで表すと, 図2のようになる。セ・パ両リーグの最下位チームの尾花, 西村両監督の悲観度はリーグの中でも高い。そのほかの勝率が低い監督の悲観度も高いことが分かる。負け試合のコメントも, 連敗が続いたり, 順位が下がった日のコメントは悲観度が非常に高かった。しかし, セ・リーグ優勝チームの落合監督は, ほかの監督とは違う傾向がある。勝率が高いにもかかわらず, 負け試合でのコメントの悲観度が高いのである。楽観度もほかの監督より高かったのだが, 悲観度もほかの監督より高いというデータが出た。この結果, 落合のような一部データは特別なケースとして, 悲観度の高い監督のチームは, 勝率が低く, 悪い成績を残しているという関係が分かった。

【文献】 ●マーティン・セリグマン(1994) オプティミストはなぜ成功するのか 講談社

●渡邊愛祈・いとうたけひこ・井上孝代(2010) 楽観主義内容分析法の説明スタイルに関する測定法: CAVE 法(説明スタイルの逐語的内容分析)に着目して マクロ・カウンセリング研究 第9巻 p48-59.